

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06206
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学			開催方法 (キャンパス・施設)	■対面 (広島キャンパス) □オンライン (同時・録画)	
2. 科 目 名	施設園芸の経営と栽培技術					
	学問分野	番 号	33	名 称	農学	
3. 担当教員	村田 和賀代 生物資源科学部 地域資源開発学科 准教授 古山 真一 生物資源科学部 地域資源開発学科 講師					
4. 開講期間 (曜日)	令和 7 年 7 月 26 日 (土)					
開講時間	9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 (90 分×2 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	30 人					
6. 科目内容・ 授業計画	県立広島大学 生物資源科学部 地域資源開発学科では、「農と食」について生産・加工・流通の各段階意を幅広く学ぶことができます。今回の講義では、施設園芸（ビニールハウスやガラス温室などの生産施設を用いて野菜や果樹などを生産する農業）についてお話しします。 (1)村田 和賀代「施設園芸経営の特徴」(9:00-10:30) 農業には、多様な経営形態があります。施設園芸と水田稲作、露地栽培、果樹園芸とを比較すると、生産技術の体系が異なるだけでなく、経営組織や意思決定にも違いが見られます。 この講義では、①農業の中での施設園芸の位置付け、②施設園芸経営の特徴（長所と短所）、③施設園芸と他の作目との経営上の違い、④これからの施設園芸の期待、を理解することを目標としています。 (2)古山 真一「施設園芸生産と環境制御技術」(10:40-12:10) 施設園芸は限られた面積で高収入を得ることができるため、特に広島県を含む中山間地域では重要な農業形態となっています。本講義では、施設園芸生産の基本的な概要を紹介した後、スマート農業技術の一つである「環境制御技術」について学びます。「環境制御技術」は、省力化と収穫量の増加を同時に実現する技術として注目されていますが、その導入には高額なコストがかかるという課題もあります。近年、低コストで製作できる統合環境制御盤が開発され、全国的に普及が進んでいます。しかし、低コストで製作するためには、機器の役割や構成について学ぶ必要があります。本講義では、環境制御盤を構成する各機器の役割やセットアップ方法について理解し、実際の現場で活用できる実践的な知識を習得することを目指します。					
7. 受 講 料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 あり・ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日：6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など なし					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。